



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・ 戸外遊びから草花や昆虫と触れ合い、季節を感じる。
- ・ 「母の日」を通して、お母さんに感謝の気持ちを持つ。



～今月の園内学習～

- ・ 足し算…5の段
- ・ 掛け算…の段
- ・ 数字カード…1～20の数字
- ・ 食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・ 漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・ 魚への漢字…「かつお」「あゆ」
- ・ 木への漢字…「かし」「たちばな」
- ・ 歴史カード…「武田信玄」ほか
- ・ ひらがなカード…「さ行」
- ・ 国旗カード…ナイジェリアほか
アフリカ各国
- ・ 地理カード…高知県ほか四国地方
- ・ 声に出して読みたい日本語・論語
- ・ 英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・ 絵画カード…「日傘をさす女性」他

～行事予定～

- ・ 書道教室…5月休講
- ・ お誕生日会…27日
- ・ 英語教室…26日[少・中・長]
- ・ 避難訓練…21日
- ・ 身体測定…12日
- ・ リミック…25日[少・中・長]
- ・ 体操教室…29日[少・中・長]

♪今月の歌♪

◇おかあさん
◆にんげんっていいな

☆新しいおともだち☆

◆なかの あきとくん
(4歳)

3歳児だより

在園児に新たに分園からのお友だちも加わり、さらに賑やかになった年少組。ただ、日常生活ではまだ手探りのよう。よ～く見てみると、「○○ちゃん、一緒に遊ぼう～？」だったり、「お名前は？」と関わり合いを持つとアプローチが見られることから心配は無用といったところかもしれません。先月末、「こどもの日」に向けた「兜」や「鯉のぼり」の製作に取組みました。「好きな色で描いていいの？」や「この色、使っていい？」と従来以上に”色”に関心を寄せ、ルンルン気分で思いのままにお顔を描いたりして、色遊びを存分に楽しんでいる姿が印象的でした。また、折り紙deちぎり絵や絵の具も使った制作だったので、みんなが大満足だったのは満面の笑みに表れているようでした。これからも新メンバーとの融合がどんどんはかれ、より一層賑やかな雰囲気の下、交わり、刺激し合い、学びができるようによく見守っていきたいと思います。ただ、時節柄 戸外で大いに羽を伸ばすことは当面、制約がありますが、こどもたちのペースで出来ることを一つひとつ出来るように工夫していきたいと思います。

4歳児だより

心を和ませてくれる桜は、青々した葉桜へと姿を変え、ツツジなどの花々へとバトンタッチし、季節に彩りを添えてくれる今日この頃。昨春、まだあどけなさが残る感じだったのに、今や年中組として少し逞しさが加わり、貫禄さえ感じられるようになってきました。自我がしっかりと確立される月齢ということもあり、ルール性の遊びの「おにごっこ」、「かくれんぼ」や「だるまさんがころんだ」にもスムーズに入っていけるようになってきました。そう、お友だちを意識し、協調して一緒に仲良く遊ぶ、という交友関係の広がりや深まりが感じられるのは頼もしい限りです。例えば、遊びの中で(同・異年齢の)お友だちとトラブルになりそうになっても、(自分の意見を押し通そうとするのではなく)相手の気持ちを聞き、自分の気持ちも伝えるコミュニケーション力で解決しようとする姿に表れているように感じられます。製作活動でも今までの感性の赴くままにただひたすら描く、というスタイルから「どんな物を描こうかな？」と構想を練る、という一工夫が入るようになったような感じです。「母の日」に向け、お母さんの顔を描くのも、頭の中にイメージを膨らませ、顔の輪郭、目・鼻・口などをしっかりと表現しようとしています。これからもよく見守っていきたいと思います。

5歳児だより

新年度のはじめの進級式で自分たちが最年長であるとの意識を新たに心に秘めた感じの年長組。ですから、今まで以上に”お当番活動”や”お手伝い”などに積極的に参加してくれ、何だか年少&年中組の手本になろうと自ら努力してくれているようです。特に、(分園からの)不慣れな新入園児には「次はねえ、これするよ！」や「こっちだよ！」と保育スタッフ顔負けするくらいの八面六臂の活躍ぶりをしてくれています。時節柄、戸外で思う存分に身体を動かすことができないので決められた時間に”シャボン玉”や”だるまさんが転んだ”を裏庭で楽しむようにしています。室内では、ルール性のある”椅子取りゲーム”や”ジャンケン列車”などでみんなで一緒に遊んで楽しんでいます。他に、カレンダーや「こどもの日」に向けた兜などの制作をしました。自分の思いを時間をかけ、丁寧に表現していました。今年度は、園のリーダー役はもちろんのこと、就学前準備をしっかりと進めていき、スムーズな就学期へと繋げていこうと思います。

給食だより ～春野菜de元気いっぱい!!～

今月5日は「こどもの日」、また「端午の節句」とも呼ばれる祝日ですが、邪気を祓う日として武家の跡継ぎの男児が無事に成長するように祝い、その後は男の子のための節句となっています。その行事食として東の「ちまき」に対し、西の「柏餅」が定番です。前者は茅葺(ちがや)の葉で巻かれたことから「ちがやまき」から後に「ちまき」と呼ばれ、厄払いの効果があるとされています。一方、後者は“次の新芽が出るまで古い葉が落ちない”柏の葉が子孫繁栄を表し、跡継ぎが重要な時代に縁起の良い植物として受け継がれてきました。そんな初夏を前にした時期は、春野菜が旬を迎える時でもあります。「春」や「新」といった冠詞がつき、春キャベツや新玉ねぎが代表例です。他にも、たけのこ、タラの芽などの山菜類、そら豆やさやえんどうといった豆類やじゃが芋の根菜類などがあります。その特徴は、みずみずしく独特の苦みや香り。越冬した野菜はみずみずしさの中に甘味がたっぷりです。また、独特の苦みは、冬の間に身体に溜まった老廃物を排出するデトックス効果が期待できます。というのも、寒い冬は家の中で過ごし、ついつい運動量が落ちることから発汗も減少し、体内に老廃物が溜まり、新陳代謝が低下することになります。換言すると、春野菜の成分が冬の間の体質をリセットしてくれる、とも言えるかもしれません。これ以外にも、脂肪の分解を助け、利尿作用、活性酸素の除去といった作用もあります。これからはますます活動に適した季節の到来となりますが、感染症拡大防止で自由に戸外活動がままならないのがネック…“春野菜de身体の調子”を整え、せめてでも(室内で)元気に過ごしていけるようにしましょう!!